

ミニ企画展

日本画家・吉原雅風で巡る四季展

～ごあいさつ～

私たちの郷土・熊谷では、今日に至るまで様々な分野において多くの芸術家が活躍し、多大な功績を残してきました。その中でも明治から昭和にかけて日本画の分野で活躍したのが吉原雅風です。

雅風は、明治15年熊谷町竹町（現在の熊谷市鎌倉町付近）で吉原写真館を営んでいた吉原秀雄の長男として生まれました。幼いころから鋭い美術感覚を持っていた雅風は、東京美術学校（現在の東京藝術大学）日本画科に入学し、卒業後も同校教授の橋本雅邦に師事しました。明治32年から連合絵画共進会へ出品をはじめ、卒業後は二葉会への出品を重ねていましたが、大正期には文展や帝展へ活躍の場を移していきました。主に山水画で文展に連続入選したことで、帝国絵画協会員にも推選されました。

その後は東京に画房を構え、入選作品のほか、数々の名作品を残しましたが、昭和4年12月、病の悪化により48歳で急逝しました。

今回展では、池畔で硯を洗う人物が描かれた、市指定文化財の「臨池洗硯」ほか、季節を題材にした作品を展示いたします。柔らかな彩色や水墨の濃淡による表現から四季折々の風情を感じていただければ幸いです。



臨池洗硯（市指定文化財）



暮れゆく秋



雪月図

会期:令和6年9月10日(火)～12月1日(日)

[休館日:毎週月曜日(祝日は除く)、9/17、9/24、10/4、10/15、11/1、11/5]

会場:熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間:午前9時～午後5時

主催:熊谷市立熊谷図書館 住所:熊谷市桜木町二丁目33番地2 電話:048-525-4551